

令和3年度授業改善推進プラン

	授業における課題や学力調査資料から見えた課題	授業改善のための具体策	成果と課題(年度末)
国語	<p><知識・技能> ・言語に関する基本的な知識・技能(漢字・読解)を定着させること。 <思考力・判断力・表現力> ・伝えたいことを明確にし、分かりやすい書き方について意識しながら文章を書かせること。</p>	<p>・聞かれていること、分かっていることなどに色分けをして線を引きながら文章を読む活動を行う。 ・既習の漢字を用いた文章作りや自主学習を活用して定着を目指す。 ・学習の中で、文型を示し、当てはめて文章を書く練習を繰り返し行い、表現の仕方に慣れる。また、簡潔にまとめて書く練習を繰り返し行い、文の書き方を定着させる。 ・作文帳の宿題を通して、「書くこと」への抵抗感を減らす。</p>	<p>(知識・技能) ・色分けをしたり、線の形を変えたりして線を引ながら読む活動を行うことで、必要な情報を読み解く力を付けさせることができた。他教科での応用に、さらに読解力を高めるよう継続して指導していく。 ・自主学習を活用した漢字の学習は有効であった。8割以上の児童がテストでも安定して9割以上取れるようになった。 (思考力・判断力・表現力) ・1年間を通して作文帳を活用した日記の宿題を出したことで、ほとんどの児童が抵抗なく自分の思いを書けるようになった。日記の宿題は有効だった。 ・文型を活用したり、例文を示したりでも、自分の考えを書くことが難しい児童が2割いるため、その児童に合った手段を検討し、指導をしていく。</p>
社会	<p><知識・技能> ・歴史上の出来事や人物のはたらきについて調べ、大まかな歴史の内容を理解させること。 (思考力・判断力・表現力) ・写真や資料から情報を整理し、まとめさせること。</p>	<p>・年表や資料の読み取りについて、繰り返し指導する。 ・図書室やタブレットを活用して資料を探し、資料を読み取り、情報を整理、まとめる活動を増やす。</p>	<p>(知識・技能)(思考力・判断力・表現力) ・歴史上の出来事や人物のはたらきについて調べ、大まかな歴史の内容を理解させるために、教科書の年表や資料、タブレット端末を活用して調べたことは、有効であった。 ・図書資料を活用した授業を設定することがほとんどできなかった。指導計画を見なおし、活用方法を検討し、実践していく。</p>
算数	<p><知識・技能> ・乗法・除法の基礎的計算力を付けさせること。 <思考力・判断力・表現力> ・割合(分数や比も含む)について理解し、該当する数量を求めたり、問題解決に活用させたりすること。</p>	<p>・朝自習や家庭学習、授業の導入の時間を活用して数多く取り組み、抵抗感を無くさせる。 ・「補充の問題」に取り組みさせ、学習内容を活用して解決しなければいけない実生活にあるような問題に触れる機会を多くする。</p>	<p>(知識・技能) ・乗法・除法の基礎的計算力をほとんどの児童に付けさせることができた。 (思考力・判断力・表現力) ・「補充の問題」や実生活に即した問題に多く触れることにより、「補充の問題」や実生活に即した問題に多く触れることにより、算数を楽しめる児童が増えた。割合については、2割程度の児童はまだ定着していないため、その児童に合った指導内容を検討し、実践していく。</p>
理科	<p><思考力・判断力・表現力> ・予想や仮説を基に、解決方法を予想させること。 ・実験や観察結果から、考察すること。</p>	<p>・予想を立てるときの視点を明確にし、自分の生活経験も踏まえてながら考えさせる。 ・どのような要因で起きている事象なのかを調べるために、どのような条件を制御したらよいかなど、視点を明確にして考えさせる。 ・問題解決学習の手順を指導する。 ・実験結果を基に、グループで話し合いをしながらどんなことが言えるのかを考えさせる。</p>	<p>(思考力・判断力・表現力) ・学習の中で実生活での事象を話題にあげ、予想を立てることで多様な考えを引き出すことができた。 ・実験内容を検討する際には、必ず条件制御の視点から考えさせるようにしたこと、子供たち同士で考えさせたことで、科学的な見方・考え方を伸ばすことができた。 ・実験結果をタブレットで撮影し、それを基にグループで話し合い、結果を考察することで、より多くの考えを共有することができた。タブレット端末の活用は有効であった。</p>
音楽	<p><知識・技能> ・各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏させること。 <思考・判断・表現> ・曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもたせること。</p>	<p>・互いの演奏をじっくりと聞く機会を設けたり、曲全体における各声部の役割を確認したりする。 ・ICT機器を活用し、自らの演奏をふり返る機会を増やす。 ・様々な表現方法を試し、歌唱表現を工夫する楽しさを味わわせ、思いや意図を膨らませられるようにする。</p>	<p>(知識・技能) ・主旋律を目立たせるために、音色や音量のバランスに気を付けながら、周の音に合わせて演奏させることができた。互いの演奏を聴き合ったり、ICT機器を活用して演奏を振り返ったりしたことが有効であった。 (思考・判断・表現) ・曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて、思いや意図をもたせることが十分だった。様々な表現方法を試したり工夫したりする活動が必要だった。</p>
図画工作	<p><思考・表現・判断> ・動き、歩行、バランス、色の鮮やかさを基に自分のイメージをもたせること。 ・感じたこと、想像したこと、見たことから表現したいことを見付け、テーマを決めて今までに学んだことを生かしながら工夫して表現する。</p>	<p>・表現したいイメージをもてるように、絵や言葉でアイデアを描き出すワークシートを活用する。 ・児童の実態に合わせて課題の難易度を調整する。 ・題材に関連する書籍を学校図書館を活用して集め、導入時に提示する。 ・今までに学んだ表現や、単元を振り返ったり、イメージを広げるためにメモを書く時間を設ける。</p>	<p>(思考・表現・判断) ・教師がワークシートを用意し、技法や例示をしたことで、動きやバランス、配色などを考えながら絵を表現できる子供が増えた。技法や例示をしたことは有効だった。 ・過去の単元を振り返ったり、メモを書かせたが、あまり効果的ではなかった。子供に主題を見付けさせるときに、なぜ制作を行うのか、動機付けを十分に教師が行えなかったため、授業の展開を整理することが必要だった。</p>
家庭	<p><知識・技能> ・裁縫や調理など、日常生活に必要な基礎的な技能を定着させること。 <思考・判断・表現> ・自らの課題を解決するために、実践方法を考えさせたり、友達に伝え合わせたりすること。</p>	<p>・家庭学習と連携を図り、裁縫や調理の仕方について保護者の支援を得ながら、学校と双方で協力して学習を進めていくようにする。 ・グループ学習を積極的に取り入れ、裁縫や調理の仕方について、友達同士で互いに教え合う時間を設ける。</p>	<p>(知識・技能) ・習字では振り返りシート、家庭ではトライカードを活用し実践したことを記録し、それを伝える活動を通して、基礎的技能的定着をさせることができた。 (思考力・判断力・表現力) ・自分の課題を解決するために、グループ学習を取り入れたことで、友達同士で教え合いながら取り組む様子が見られた。グループ活動を取り入れたことは有効だった。また、タブレット端末を活用して、実践内容を友達と共有させたことで、課題を解決するための見直しをもたせることができた。タブレット端末を活用することは有効であった。</p>
体育	<p><思考力・判断力・表現力> ・各種の運動について、動きや技のポイント、自分の課題を見付けさせること。 <学びに向かう力、人間性> ・自己の心身の健康への関心を高めさせること。</p>	<p>・グループでの活動を積極的に設定し、互いに動きや技の様子を見合い、アドバイスをし合うようにする。また、タブレットを活用して、自分を動画で取り、動き方を改善させるようにする。 ・課題別に場を変えるなどの場の設定を工夫する。 ・体育の時間を通して様々な運動に親しめるようにし、体を動かす機会を増やす。また、けがや事故について、授業前に必ず確認し、安全に気を付け取り組ませるようにする。</p>	<p>(思考力・判断力・表現力) ・グループで行う場面を多く取入れたことで自分やグループの課題を見付けられるようになった。グループ活動や互いに動きを見合う活動を取り入れたことは有効だった。 ・タブレットを端末を活用する場面を設定することができなかった。活用場面の設定について、他の教員に活用方法を聞き、実践していく。 (学びに向かう力、人間性) ・安全に気を付け学習に取り組む様子も見られたが、自身の調子を把握しきれず、思わぬけがに繋がってしまうことがあった。授業前の安全指導の徹底を行っていく必要がある。</p>
外国語	<p><思考・判断・表現> <学びに向かう力、人間性> ・身近で簡単な事柄や地域の様子について、積極的に外国語を用いて話したり、聞いたり、カードに書いて伝えさせること。</p>	<p>・フラッシュカードやチャンツを活用し、英単語や会話文を何度も発音させることで、英語で話すことへの抵抗感を少なくする。また、「間違ってもいい。とりあえず声に出してみる」といった楽しい雰囲気づくりを心掛ける。 ・会話文の型を板書したり、例文を板書するなど、参考例を多く提示するようにする。 ・タブレットを活用して、英語の発音の仕方や文章の書き方を参考にさせる。</p>	<p>(思考力・判断力・表現力)(学びに向かう力、人間性) ・フラッシュカードを活用しての単語の発音練習の場面では、あまり発音を確認することができなかったが、ゲームの場面で多くの児童が発音する様子が見られ、英語で話すことへの抵抗感を少なくすることができた。指導内容を工夫して、実践を重ねていく必要がある。 ・会話の練習には、あまり積極的になれていない現状がある。例示しただけでは、抵抗感を感ずやすいため、方法を検討する必要がある。</p>
道徳	<p>・自分の考えをもち、表現させること。 ・多様な考えに触れ、ねらいとする価値について自分の考えを深めさせること。 ・自分とは異なる様々な価値観があることについて理解させること。</p>	<p>・ワークシートなどを活用し、自分の考えをもち、書く時間十分確保する。 ・道徳的価値を自分のこととして考えられるような発問を用意する。 ・ペアやグループで話し合う場面を多くし、多様な考えに触れられるようにする。</p>	<p>・自分の考えをもち、表現をすることができるようになった。個人で考える時間を十分につけたことは有効だった。 ・多様な考えに触れ、ねらいとする価値について自分の考えを深めさせる場面を設定したことで、自分の考えを書ける児童が増えた。ペアやグループでの話し合い活動やタブレット端末を活用した取り組みは有効であった。</p>
総合的な学習の時間	<p><知識・技能> ・自分で設定した課題を解決するために、必要な手段を用いて、適切な情報を集めること。 ・集めた情報を、取捨選択させること。</p>	<p>・必要な情報を集めるために、タブレットだけに頼るのではなく、学校図書館の資料も活用しながら取り組ませる。 ・どのように検索したら、情報を探し出せるのか、学級全体で情報共有する時間を設定する。 ・集めた課題を整理する時間を設定する。</p>	<p>(知識・技能) ・調べ学習の資料を活用した授業を設定することがほとんどできず、書籍とデータの資料を併用し、必要な情報を集める力を伸ばせなかった。指導計画を見なおし、活用方法を検討する必要がある。 ・調べた内容を整理し、紙面だけでなく、タブレット端末を活用して、プレゼンテーションソフトや文書作成ソフトでまとめるようにしたこと、まとめる時間を確保でき、情報の取捨選択、自分の言葉でまとめ、表現する力を付けさせることができた。タブレットを端末を活用したことは有効だった。</p>

※ 枠の大きさは適宜調整して、1枚に収まるように作成してください。